

平成24年度 第1回江別市廃棄物減量等推進審議会（要旨）

日 時	平成24年6月28日（木）午前10時～11時20分
場 所	江別市保健センター3階会議室
出席委員	押谷会長、佐藤副会長、林倉委員、最上委員、蛭名委員、後藤委員、中井(悦)委員、森木委員、菊池委員、中井(和)委員（10名）
欠席委員	小出委員、星委員、山崎委員（3名）
事 務 局	柴垣生活環境部長、土屋生活環境部次長、川村環境室長、澤田減量推進課長、明石廃棄物対策課長、立石施設管理課長、渡辺減量政策担当主幹、松井減量推進係長、中村リサイクル係長、鎌田主任（10名）
傍 聴 者	2名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域主権改革一括法に伴う条例の改正予定について</li> <li>・ 震災がれき広域処理の江別市の考え方について</li> <li>・ 生ごみ先進地調査の報告について</li> <li>・ 収集日カレンダーへの広告掲載について</li> <li>・ 廃棄物の不法投棄等の情報提供に関する協定締結について</li> </ul> </li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>4. 閉会</li> </ol>
配布資料	資料1 地域主権改革一括法に伴う条例の改正予定について 資料2 災害廃棄物の広域処理経過報告 資料3 生ごみ先進地調査の報告について 資料4 ごみ・資源物収集日カレンダーへの広告掲載について 資料5 廃棄物の不法投棄等の情報提供に関する協定締結について

▼会議内容

【開会】

澤田課長

本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。会議に先立って、委員の交代を報告いたします。

平成22年8月から1年8か月お世話になった札幌学院大学の高橋徹委員が、3月31日をもって退任されました。本日は都合により欠席されていますが、退任された高橋委員の後任となられる札幌学院大学の小出良幸委員には、6月6日、事務局より委嘱状を交付しました。

本日は傍聴者が2名おりますので、あらかじめ報告いたします。

本日は審議会の定数13名のうち現在9名の出席があり、本審議会は成立していることを報告いたします。それでは、会長より議事進行をお願いいたします。

【会長あいさつ】

（中井和夫議員出席。出席委員数10名に）



- 菊池委員 4月13日の調査の回答を保留している理由はなんですか。
- 川村室長 この調査は、受入れに積極的な市町村のみが回答すればいいと付記されていたので、江別市では現在のところ受入れに対する姿勢を保留しており、受入れに積極的な市町村ではないことから、回答を保留しています。
- 菊池委員 ということは、受け入れないということでもないと考えていいのでしょうか。
- 川村室長 はい、今後のいろいろな状況が変われば、検討する場合もあるということで、現時点では、○でも×でもないという姿勢です。
- 菊池委員 わかりました。できれば受け入れないと明確にさせていただきたいと思って聞きました。
- 押谷会長 江別市の方針は市長が言っているとおりであり、今後、どうしても受け入れしなければならぬというようなことになれば、当然、議会等でも議論されるでしょうし、この審議会に意見を求められるようなこともあろうかと思いますが、現在のところの状況に関する報告ということで、この件はこれでよろしいでしょうか。（了）  
では、次をお願いします。
- 松井係長 (生ごみ先進地調査について報告：立川市・太田市)  
中村係長 (生ごみ先進地調査について報告：北広島市・中空知衛生施設組合)
- 押谷会長 ただいま説明がありましたが、何か質問があればお願いします。
- 林倉委員 北広島での下水処理センターで、民間事業者の協力が得られないため、インセンティブを検討中ということでしたが、なぜ協力が得られないのでしょうか。料金的なものと考えられますが、特別高い料金でもないようで、何か理由があったのでしょうか。
- 澤田課長 生ごみを別に出すということは、それだけ手間、つまり費用が発生するので、事業者の協力が得られないのだろうということでした。
- 林倉委員 それだけの理由ですか。江別で分別収集するということになれば、江別の事業者はかなり協力するのではないかという印象を持っています。地域の事業者として積極性を持ってほしいですね。
- 押谷会長 余分な手間がかかるのでやりたくない、ということなのかもしれませんね。
- 林倉委員 事務系事業所で生ごみを分別するとなると、生ごみを溜めて収集日に出す手間や溜めておく場所などの問題があると思いますが、その分の量的な比率は低いと思います。外食産業、スーパー、流通仕分けセンターなどが生ごみの9割を占めるとは思います。江別の場合、リサイクル施設がないためそういう事業者が苦慮していますので、事業者が積極的にならない理由が疑問ですね。
- 蛭名委員 立川市のモデル事業では、集めた生ごみをどのように処理しているのですか。

松井係長 収集した生ごみは、委託業者が堆肥化しており、委託業者のルートに乗って堆肥を販売、配布している状況です。

押谷会長 その施設は委託事業者の施設なのですか。

松井係長 そうです。

中井(和)委員 北広島市と中空知はごみ収集料金が記載されていますが、太田市と立川市のごみ収集は有料なのですか。

松井係長 どちらも有料収集です。

中井(和)委員 収集が有料か無料かによって、分別の対応が変わってくると思うので聞いたのですが、金額等はわかりませんか。

松井係長 そこまでは、今、把握しておりません。調べて後日報告いたします。

中井(和)委員 中空知では、十分な量のメタンの発生があるということですが、冬期間はどうか。他のところでは、冬期間はかなり効率が落ちると聞いていますが。

澤田課長 中空知の場合は、冬期間はガスによる加温設備があり、夏場よりは多少効率が落ちますが、一定のガスを発生させています。

押谷会長 生ごみのリサイクルについては、今後もこのような研究を続けていただいて、本審議会で議論する機会があれば、意見を伺いたいと思います。この件はこれでよろしいでしょうか。(了)  
それでは、次をお願いします。

中村係長 (収集日カレンダーへの広告掲載について報告)

押谷会長 ただいまの報告について、何か質問などありますか。(なしの声)  
では次の報告をお願いします。

明石課長 (廃棄物の不法投棄等の情報提供に関する協定締結について報告)

押谷会長 ただいま報告いただきましたが、このことについて何かありますか。(なしの声)  
一通り報告が終わったわけですが、報告事項を終了する前に、これまでの中で何か追加して質問等があればお願いします。

中井(和)委員 生ごみの資源化との関連ですが、江別市のごみを有料化する際の説明会で、RDF燃料にすることができないかと質問をしました。火災が発生した事例もあるので検討対象にしていないという回答でしたが、生ごみの資源化を考えていくのであれば、同時にRDF燃料化やプラスチック類のエネルギー資源の回収など、全体を含めて考えなければならないと思います。すでに10年間のごみ処理計画が決まっていますので、10年先の話になるかもしれませんが、ぜひそういう視点を持つ必要があると考えます。

押谷会長 現在、諮問を受けているわけではないため、分別方法やごみ処理計画の全体像について議論する場ではないと思いますので、ただいまの発言は、意見として議事録に載せることに留めたいと思います。そのほか何かありますか。

菊池委員 生ごみの先進地調査報告の資料の記載についてですが、⑪の調査結果の内容は、調査した江別市職員の感想ですか、それとも調査先の市の考えですか。

川村室長 ⑪の調査結果は、調査した者の意見で、⑨の事業の評価が調査先の市の見解となっています。

押谷会長 他になければ、以上で報告事項についてはこれでよろしいでしょうか。（了）

押谷会長 次に「その他」として、何か事務局からありますか。

澤田課長 2点ほどありますので、それぞれ説明いたします。

中村係長 （平成24年度分別の手引きを発行しないことについて報告）

押谷会長 今のことについて、何か質問等はありませんか。（なしの声）  
2点目をお願いします。

明石課長 （指定ごみ袋の在庫について報告）

押谷会長 このことについて質問等ありますか。（なしの声）  
次に委員の皆さんの方から何かありますか。

中井(和)委員 カラス対策について、非常に深刻な問題になっています。ごみを出すまでは当事者責任なので、きちんと網をかけるように話していますが、住民の中にはごみステーションは市が指定したのだから、市が対策を考えるべきだという意見も強く、自治会長がカラスサークルの貸与を環境事務所に申し入れました。40ヶ所程度ステーションがあるのですが、1つか2つなら貸せると言われたとのこと。市で何か対策について考えがあれば教えていただきたいのですが、ないのであれば、次に向けてぜひ検討していただきたいと思います。

明石課長 まず、ごみステーションは、利用者で決めていただくこととしており、市で決めているわけではないということをご了解いただきたいと思います。また清潔に保持していただきたいということも条例で定めております。

市では、札幌の事例なども研究して広報等でも周知していますが、効果を確認するためのモニターとして、カラス除けサークルをお貸ししています。ただ、数が限られていますので、地域で1~2ヶ所程度としています。また、ネットについて市で配布や購入助成できないかという声もありますが、現状では、カラス除けサークルをモニターとして活用していただき、そのうえで地域・利用者・自治会などに対応していただくということとしております。

中井(和)委員 モニター用のカラス除けサークルはいくつ貸出しているのですか。

明石課長 現在、50基ほどあって、ほぼ出払っています。また、就労支援事業所に活動の一環として作ってもらっているところで、40基ほどが秋に出来上がる予定です。

佐藤副会長 大麻地区連では、各自治会にカラス除けサークルやネットを斡旋しています。ごみに関しては落ち着いており、自分たちが出すごみについては自分たちで責任を持つということで自治会関係は動いていると思います。自治会の中でそういう意見があれば、地区連に上げてもらえれば、市に対していろいろ意見を言うことができます。今のところ自治会関係では、ごみについてそういう意見は出てはいません。

押谷会長 他に何かありますか。（なしの声）  
報告事項その他に関して、委員の皆さんからいろいろご意見をいただきました。それについては、展開できるものは展開して議論を深めて行きたいと思いますので、よろしく願いいたします。  
以上で審議会の議事を終了して、進行を事務局にお返しします。

【閉会】

澤田課長 これをもちまして、本日の日程をすべて終わらせていただきます。次回の開催につきましては、日程が決まり次第ご連絡したいと思いますので、よろしく願いいたします。本日は、ありがとうございました。